

ホームID	ホーム名		法人名			評価日		
2841	グランガーデン福岡浄水		(株)キューデン・グッドライフ福岡			H29.2.9		
評価機関	特定非営利活動法人あい・ライフサポートシステムズ					H29.2.21		
評価結果								
スケールNo.	自己評価	機関評価	スケールNo.	自己評価	機関評価	スケールNo.	自己評価	機関評価
1.1.1	A	A	2.3.4	A	A	6.2.1	A	A
1.1.2	A	A	2.3.5	A	A	6.2.2	A	A
1.1.3	A	A	2.3.6	A	A	6.2.3	A	A
1.1.4	A	A	2.3.7	A	A	6.2.4	A	A
1.2.1	A	A	2.3.8	非該当	非該当	6.2.5	A	A
1.2.2	A	A	2.3.9	A	A	6.2.6	A	A
1.2.3	A	A	2.3.10	A	A	6.2.7	A	A
1.3.1	A	A	2.3.11	A	A	6.2.8	A	A
1.3.2	A	A	2.4.1	A	A	6.2.9	A	A
1.3.3	A	A	2.4.2	A	A	6.3.1	A	A
1.4.1	A	A	2.4.3	A	A	6.3.2	A	A
1.4.2	A	A	2.4.4	A	A	6.3.3	A	A
1.4.3	A	A	2.4.5	A	A	7.1.1	A	A
1.4.4	A	A	2.4.6	A	A	7.1.2	A	A
1.4.5	A	A	3.1.1	A	A	7.2.1	A	A
1.4.6	A	A	3.1.2	A	A	7.3.1	A	A
1.4.7	A	A	3.1.3	A	A	7.3.2	A	A
1.4.8	A	A	3.1.4	A	A	7.3.3	A	A
1.5.1	A	A	3.1.5	非該当	非該当	7.3.4	A	A
1.5.2	A	A	3.1.6	A	A	7.4.1	A	A
1.5.3	A	A	3.1.7	A	A	7.4.2	A	A
2.1.1	A	A	4.1.1	A	A	7.4.3	A	A
2.1.2	A	A	4.1.2	A	A	7.4.4	A	A
2.2.1	A	A	4.1.3	A	A	7.4.5	A	A
2.2.2	A	A	4.1.4	A	A	7.5.1	A	A
2.2.3	A	A	4.2.1	A	A	7.5.2	A	A
2.2.4	A	A	4.2.2	A	A	7.5.3	A	A
2.2.5	A	A	5.1.1	A	A	7.5.4	A	A
2.2.6	A	A	5.1.2	A	A	7.5.5	A	A
2.2.7	A	A	5.2.1	A	A	7.5.6	A	A
2.2.8	A	A	5.2.2	A	A	7.5.7	A	A
2.2.9	A	A	5.2.3	A	A	7.6.1	A	A
2.2.10	A	A	5.2.4	A	A	7.6.2	A	A
2.2.11	A	A	5.2.5	A	A	7.6.3	A	A
2.3.1	非該当	非該当	6.1.1	A	A			
2.3.2	A	A	6.1.2	A	A			
2.3.3	A	A	6.1.3	A	A			

【評価機関の所見】

1. 優れた取り組みと思われる点

スケール	所 見
2-4-2	<p>ホームが提供する各種のサービス並びに円滑な業務運営を行う為には、手順を明確にしたマニュアルの整備が求められます。当ホームでは、生活サービス業務標準マニュアル12項目及び介護サービス業務標準マニュアル40項目と細部にわたってその手順書が整備されています。又、マニュアルの見直し基準も成文化され、マニュアルの改訂に際しては業務マニュアル検討委員会で検討され、定期的に見直し改訂に繋げています。そのことはサービスの質の向上、事故防止、更には業務の効率化に寄与するものとして評価されるところです。</p>
2-4-3	<p>前回（平成25年）の第三者評価で、更なる取り組みとして、蓄積されているヒヤリハットのデータを、時間帯別や場所別、入居者別、要因別などで数値化やグラフ化し、傾向分析などが行われると、なお良い取り組みになると思われます。と言う指摘がなされています。その指摘を真摯に受け止め、事故対策委員会が中心となり、ヒヤリハットのデータ分析を行う中で、介護居室における転倒予防策として、人感センサーを設置し、入居者の行動特性を把握、転倒予防の検討材料としています。事故発生から事故報告書、事故対策委員会開催とスムーズな流れの確立もあり、事故の再発防止並びにリスクマネジメントの向上に努められていることが、確認できました。</p>
2-4-5 2-4-6	<p>危機管理規定の中に、火災、地震、風水害等の対策マニュアルが整備されています。そのマニュアルには「施設→統括会社→本社」とそれぞれにしっかりした防災に関する組織体制が確立されており、役割や責任が明確になっています。又、事務所に隣接して防災センターが設置され、各所に設置された火災報知器の集中管理や火災通報装置、自動電源設備更には防犯設備等も整備され、管理要員も配置されており、日頃からの防災に関する大きな役割を担っています。火災や自然災害等が発生した時に自力での身体的安全確保や避難が困難な高齢者の、安全対策や施設環境を整備しておくことは、高齢者福祉施設にとって極めて重要です。総合防災訓練を年一回計画的に実施すると共に、2ヶ月に一回職員による夜間想定訓練も実施しています。いざと言う時の食糧の備蓄や、避難に必要な器具類の保管も確認することが出来ました。マニュアルを整備し、消防設備も整え、訓練も計画的に実施されており、入居者の安全性確保に対する備えが行き届いている様子が伺えます。</p>
4-2-2 7-2-1	<p>月4本の映画上映等を行うシアタールーム。囲碁・将棋・麻雀を楽しむゲームルーム。7紙の新聞、1000冊を超える図書、PCを備えたライブラリー図書室。エクササイズの部屋にはウォーキングマシンやフィットネスバイクが設置されています。その他、広いロビーを活用した移動販売やラジオ体操、更には中庭でリゾート気分を味わって頂く為のしつらえに工夫を凝らしたイベント等が定期的に行われています。充実した設備をフルに活用すべく、又、入居者のニーズを的確に反映した豊富なメニューのアクティビティーが、年間・月間計画に基づき実施されています。要介護状態となり外出が難しい方にも参加できる内容を検討し、実施されています。また入居者と共にボールウォーキングを率先して楽しめる支配人の姿は、入居者と職員が一体となった和やかな雰囲気を作りだしています。これらの多くの取り組みは、居室での引きこもり防止や入居者のADLの低下予防にも大きな効果をもたらしている様子が伺えます。</p>
6-1-2	<p>職員の接遇マナーが徹底され、丁寧な言葉遣いがなされていて対応の良さを感じさせるホームです。これは接遇マニュアルに基づく研修、接遇マナーに関する書籍の活用、ホーム内接遇責任者による接遇管理者研修の実施等、接遇マナーについて徹底した研修が行われている結果が見て取れます。接遇は、お客様により良いサービスを提供するためのスキルであり、円滑なコミュニケーションや信頼関係を築くためには不可欠な要素となります。とすると様々な不安を抱える入居者の心身の特性を踏まえて、「常に入居者の立場に立ったサービスの提供に努めます」と言う運営方針が実践されている様子が伺えます。</p>
6-3-2	<p>「一人の人間として、認知症の人も認知症で無い人も区別することなく、共に暮らしていける環境づくりが基本」と言うホームの基本姿勢に基づき、内外に於ける認知症に関する研修を実施し、積極的に理解をしようという姿勢が見られます。又、専門医の訪問診療の機会に、事例相談も行い認知症の入居者への声掛け及び対応の仕方など検討がなされています。特に認知症の方が、ご自分の部屋がわかりやすいようにと、部屋の入口にメモリーグッズを置いて、部屋の認識がし易いような工夫もされており、認知症の方に対する大変有効な取り組みが伺えます。</p>